CARMATE

RV-INNO

IN-378　サイクルアタッチメントペダルホールド取扱説明書

はじめに

このたびは、カーメイトRV-INNOサイクルアタッチメントをお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよく読んで理解してから本品を使用し、記載事項全てを必ず守ってください。
この取扱説明書は、必要なときにいつでも読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

目　次

はじめに…… 1
安全にお使いいただくために…… 2
　必ず守ってください…… 2
部品内容を確認する…… 6
使用工具を準備する…… 6
取付方法…… 7
　ステー・バーを車両に取付ける…… 7
　取付場所を選定する…… 7
　ペダルクランプを調整する…… 7
　ペダルスペーサーを調整する…… 9
　タイヤホルダーを調整する…… 9
　ペダルフックを調整する…… 10
　本品をベーシックバーに取付ける…… 10
　取付後の確認をする…… 11
使用方法…… 12
　サイクルを積載する…… 12
　走行する…… 13
　サイクルを降ろす…… 14
日常のお手入れ…… 15
保管方法…… 15
純正補修パーツのご案内…… 16
お問合せ先…… 16

安全にお使いいただくために

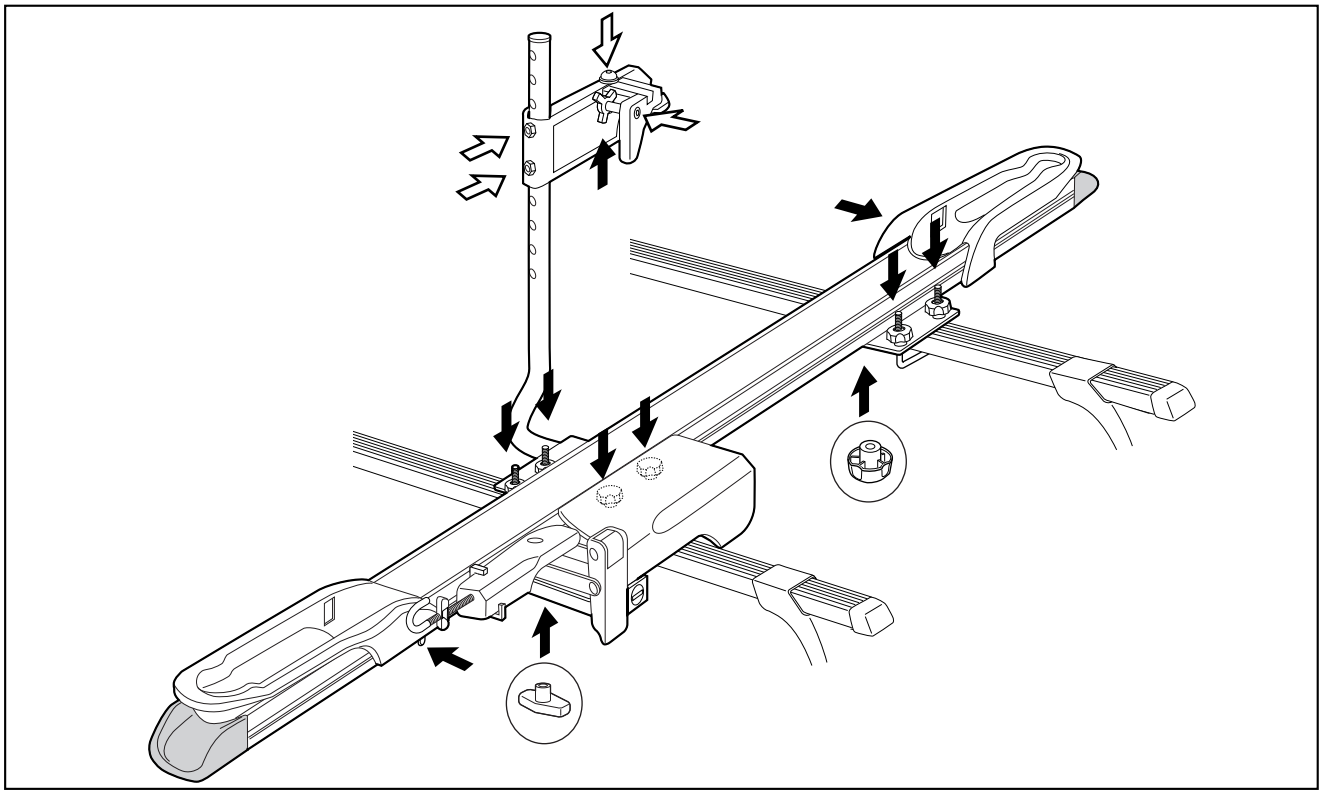
必ず守ってください

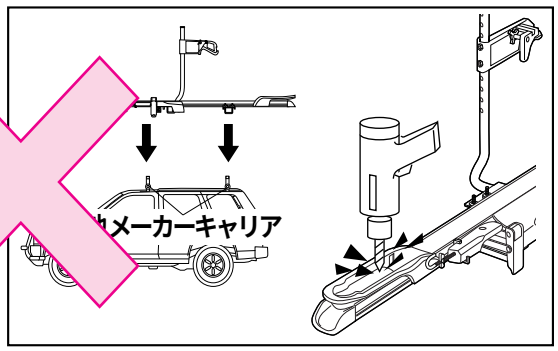
本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

警告	警告事項を守らないと、キャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込み、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

走行前に必ずサイクルを載せて 11ヶ所のノブナット、 4ヶ所の六角穴付ボルトを点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

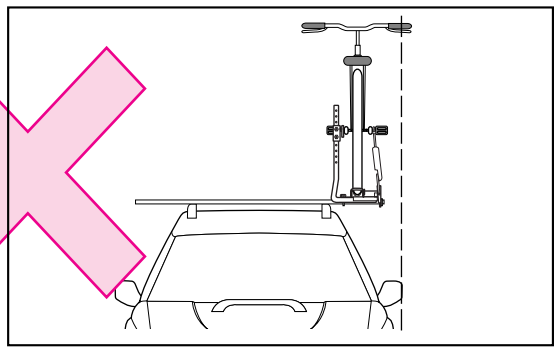
ノブナット、六角穴付ボルトにユルミがあると、走行時の風圧・振動によりサイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。





他メーカーのキャリアへの取付けや、本品を改造しての使用はしないでください。

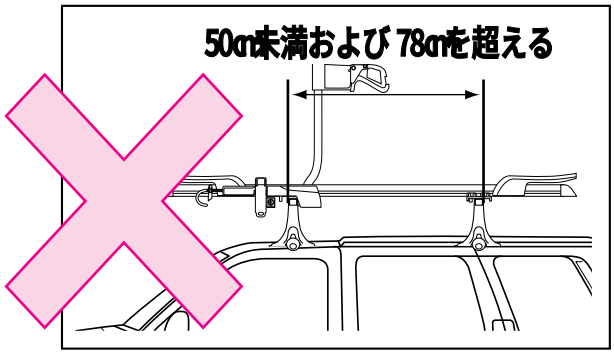
他メーカーのキャリアへの取付けや、改造して使用すると、確実な固定ができず、アタッチメントやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



積載時にサイクルのハンドルが車幅より外に出ないようにアタッチメントを取付けてください。

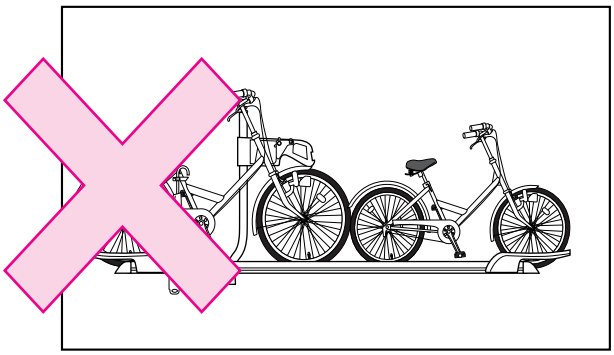
サイクルのハンドルが車幅より外に出ている状態でサイクルを積載すると、走行中にサイクルが障害物にぶつかることによりアタッチメントやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

警告 警告事項を守らないと、キャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込み、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



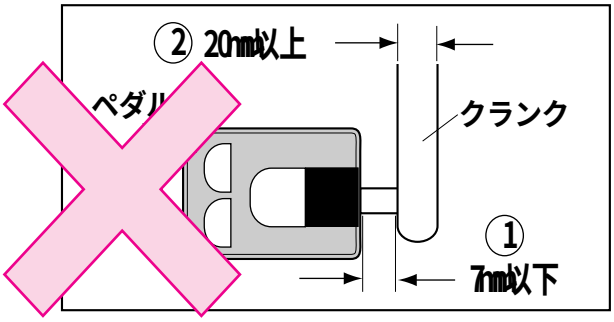
キャリアの前後間隔は、必ず50cm～78cmの範囲内で取付けてください。

キャリアの前後間隔が指定範囲を外れた状態でアタッチメントを取付けると、キャリアに無理な力がかかることによりキャリアやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



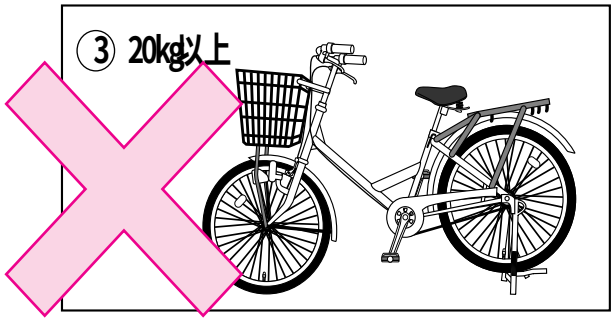
サイクル以外のものを積載したり、1台のアタッチメントに2台以上のサイクルを積載することはしないでください。

また、下記のサイクルは積載しないでください。

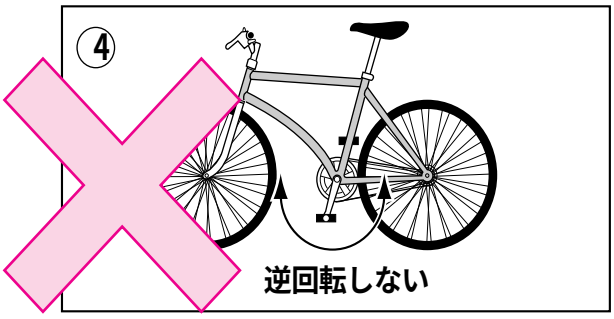


① ペダルとクランクのすき間が7mm以下のもの。

② クランクの厚みが20mm以上のもの。



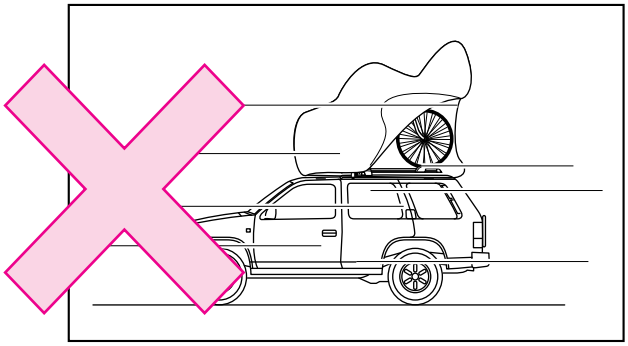
③ サイクルの重量が20kg以上のもの。



④ ペダルが逆回転しないもの

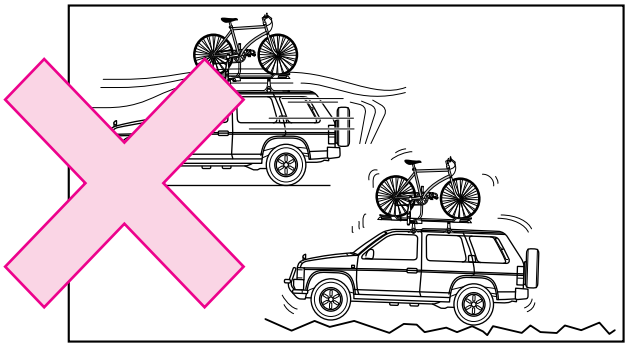
サイクル以外のものを積載したり、定められた条件に合致しないサイクルを積載したりすると、サイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

警告 警告事項を守らないと、キャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込み、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



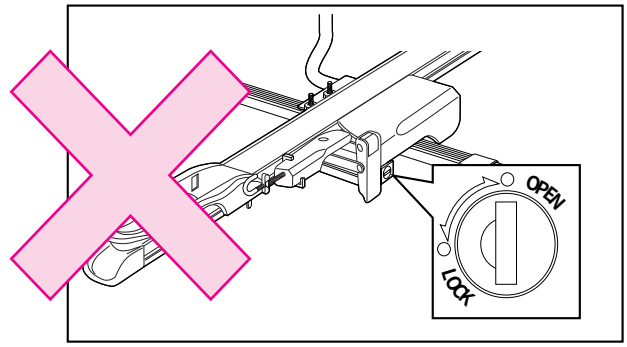
積載時には、サイクル収納ケースや防水シートを使用しないでください。

サイクル収納ケースや防水シートを使用すると、走行時の風圧によりサイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



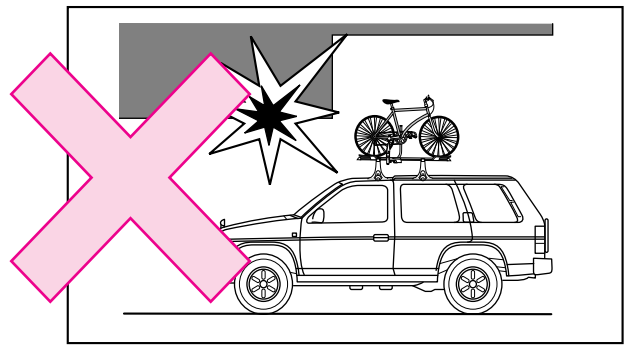
法定速度を守り、強風時や、悪路では特に速度を落として走行してください。

法定速度を超えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をすると、ノブやボルトのユルミによりサイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



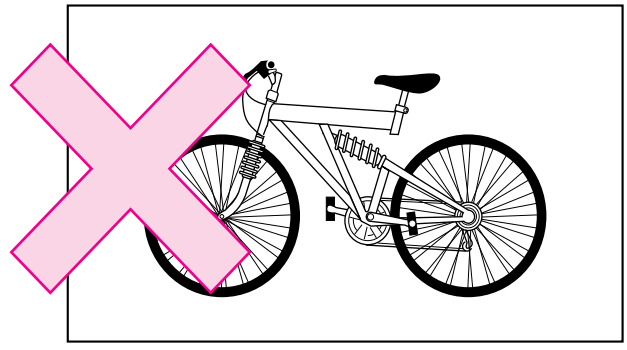
積載するときは、必ずキーをロックしてください。

ロックレバーをキーロックしないと、走行時の風圧・振動によりロックカバーが外れ、ペダルクランプが緩み、サイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



走行前に必ずサイクル積載状態での高さを把握し、その高さより低い駐車場やトンネル等には進入しないでください。

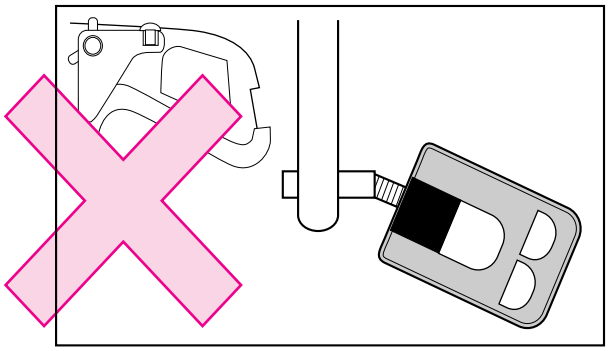
サイクル積載状態での高さより低い駐車場やトンネルなどに進入すると、サイクルがぶつかり、キャリアやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



サスペンション付のサイクルは遊びが出るまで緩めた設定で積載しないでください。

サスペンションに遊びが出るまでやわらかい設定だと走行時の安定性が悪くなり、サイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

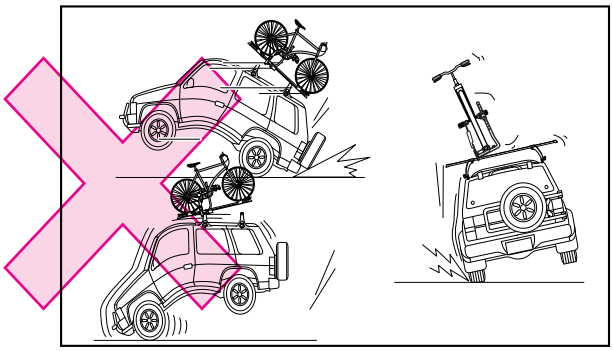
警告 警告事項を守らないと、キャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込み、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



積載の際、サイクルのペダルのネジがしっかりと締め込まれているか確認してください。

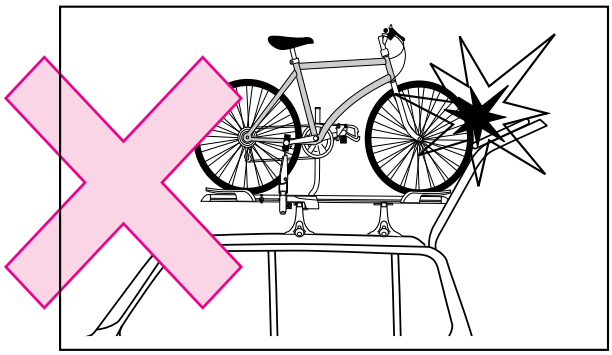
サイクルのペダルのネジがしっかりと締め込まれていないと走行中、ネジのユルミにより、サイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

注意 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。



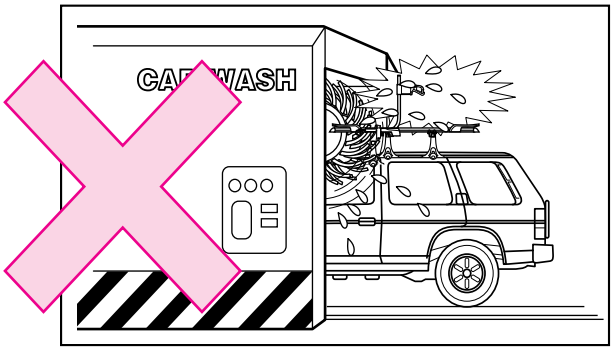
急発進、急ブレーキ、急ハンドルはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアとサイクルの取付状態を確認してください。

積載時に、急発進、急ブレーキ、急ハンドルをすると、キャリアの取付位置がずれて車両やサイクルが損傷するおそれがあります。



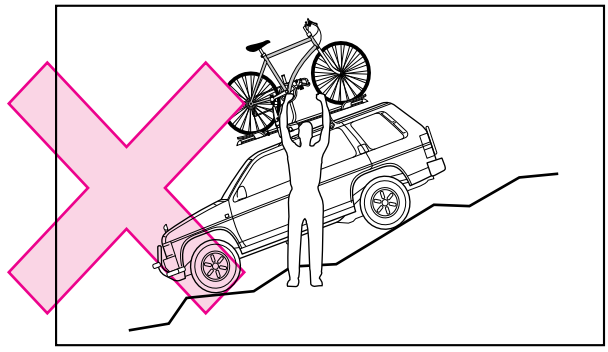
リアゲートやトランクをサイクルに当てないでください。誤って当てた場合は、必ずキャリアとサイクルの取付状態を確認してください。

リアゲートやトランクを開けるときにサイクルに当てると、車両やサイクルが損傷するおそれがあります。



洗車機にかけるときはキャリアを外してください。誤ってキャリアを取付けたまま洗車機にかけた場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

キャリアを取付けたまま洗車機にかけると、キャリアや車両が損傷するおそれがあります。



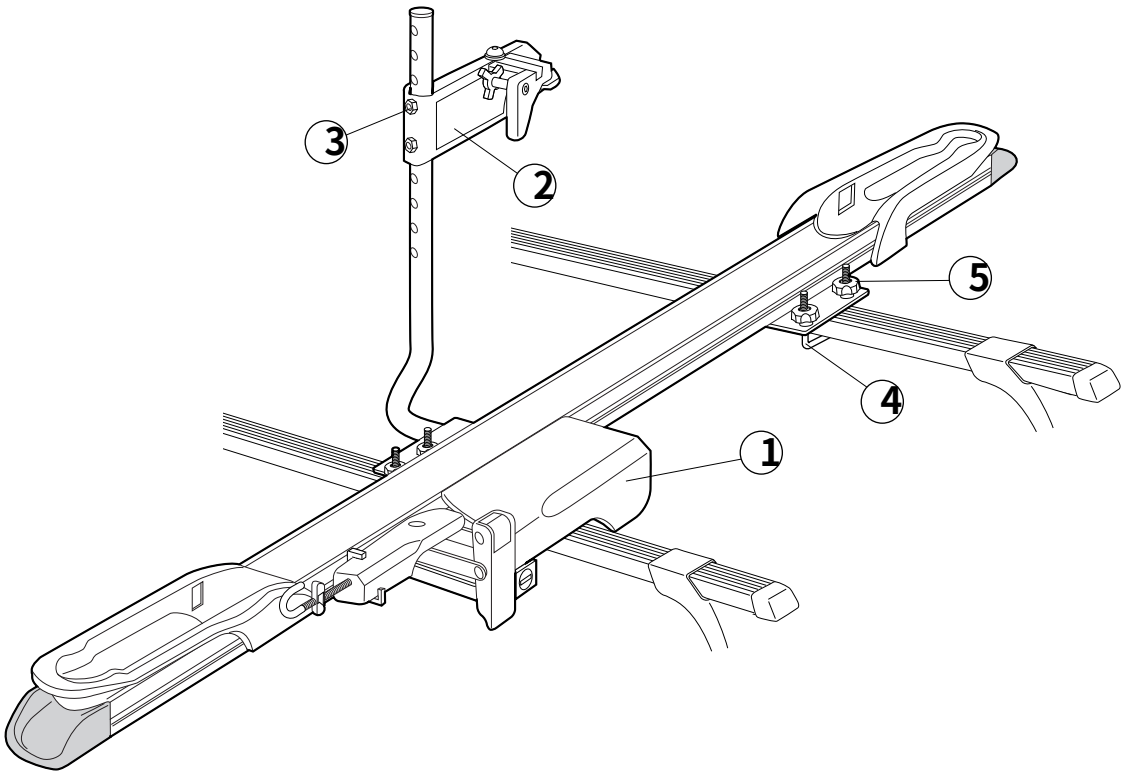
サイクルの積み降ろしは、安定した平らな場所で行ってください。

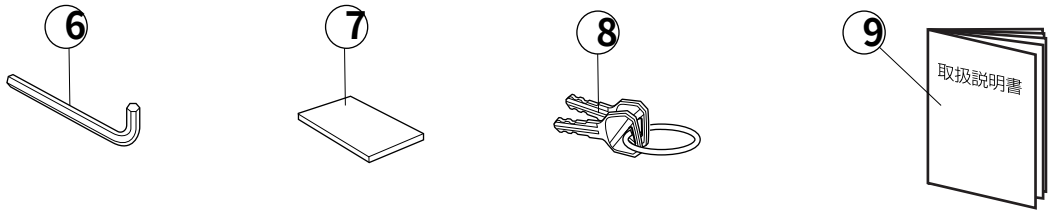
サイクルの積み降ろしを斜面などの不安定な場所で行うと、サイクルが落ちてケガを負ったりサイクルが損傷するおそれがあります。

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

NO.	部品	数量	NO.	部品	数量
①	本体	1	⑥	六角レンチ	1
②	ペダルクランプ	1	⑦	ゴムシート	1
③	六角穴付ボルト	2	⑧	キー	2
④	Uボルト	3	⑨	取扱説明書	1
⑤	ノブナット	6			





使用工具を準備する

本品の取付けには、次の工具が必要です。

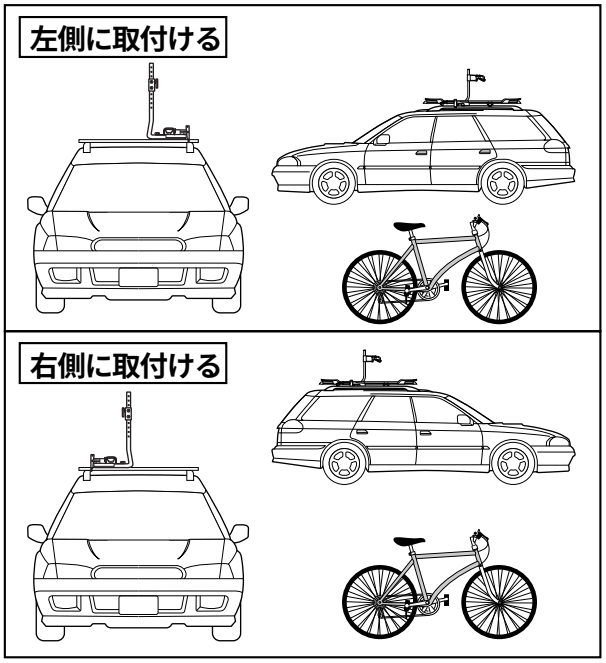
使用工具	数量
メジャー	1本

取付方法

準備1 ステー・バーを車両に取付ける

1 ステー、バーをベーシックステーセットの取扱説明書に従って、キャリア前後間隔が50～78cmになるように正しく取付ける。

準備2 取付場所を選定する

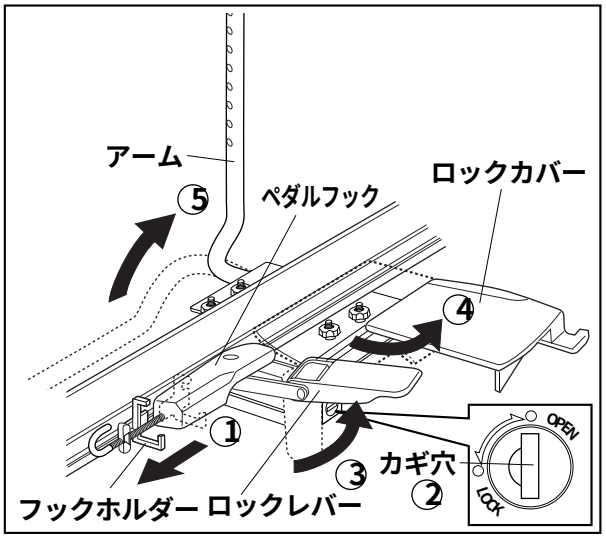


1 アタッチメントを車両の左側に積むか、右側に積むか決める。

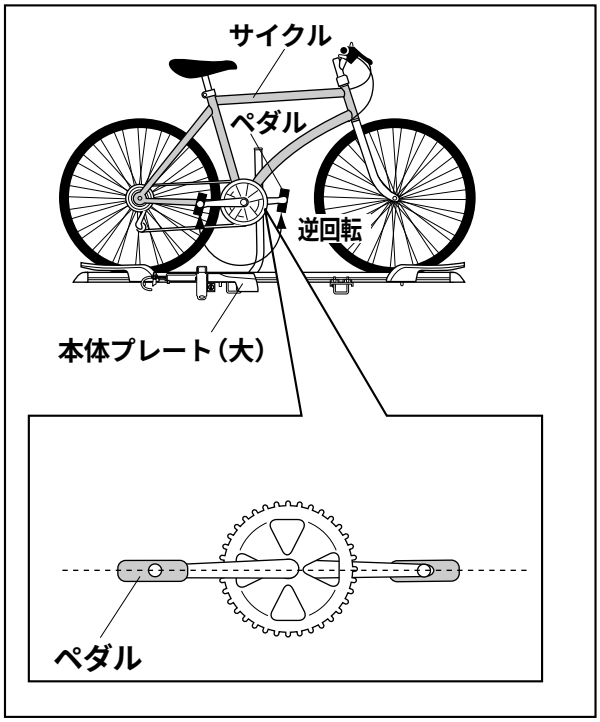
参考

アタッチメントを左側取付するとサイクルの積載方向は進行方向に対して後ろ向きになります。

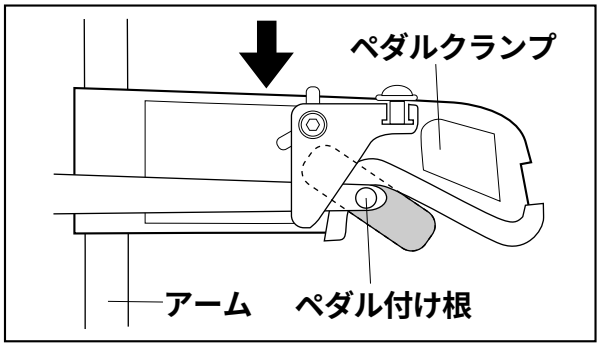
準備3 ペダルクランプを調整する



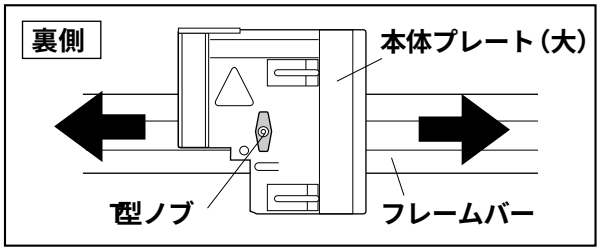
1
① フックホルダーをスライドさせペダルフックを解除する。
② カギ穴にキーを差し込み、キーを〝OPEN〟の方向に回し、
③ ロックレバーを上げる。
④ ロックカバーを開け、
⑤ アームを立てる。



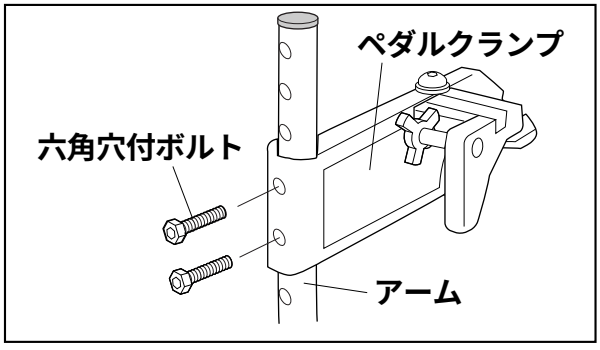
2 積載するサイクルをフレームバーの中央に仮積載し、サイクルのペダルを水平にする。



3 ペダルクランプをアームに差し込みペダル付け根にしっかり入れ位置を合わせる。



4 サイクルをフレームバーの中央に載せてもペダルクランプとペダルの位置が合わない場合はT型ノブをゆるめ本体プレート（大）をスライドさせ位置を合わせる。調整後はT型ノブを確実に締め込み固定する。



5 ペダルクランプの位置が決まったら、六角穴付ボルトで確実に締め込み固定する。

⚠警告

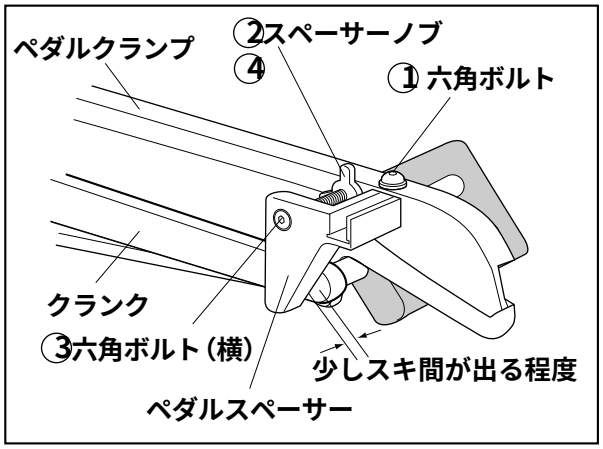
必ずペダルクランプの高さ調整をしてください。適正な位置でないとキャリアに無理な力がかかることによりサイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

⚠警告

タイヤの空気圧は一定に保ってください。高さ調整後の空気圧が高さ調整前の空気圧と違うとサイクルの高さが変わり、積載出来なくなったり、ユルミにより確実に固定出来なくなるおそれがあります。タイヤの空気圧を調整するか、高さ調整を再度行ってください。

準備 4

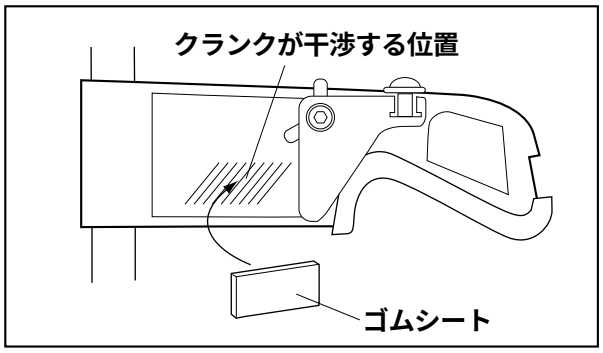
ペダルスペーサーを調整する



1 ① ペダルクランプの上側の六角ボルトを2回転緩める。
② スペーサーノブを緩め、
③ クランクとペダルスペーサーに少しスキ間が出る程度に六角ボルト（横）で幅調整をする。
④ スペーサーノブをペダルクランプ側に締め込む。

警告

必ずペダルスペーサーの高さ調整をしてください。幅が適正でないとサイクルにキズが付いたり、キャリアに無理な力がかかることによりサイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

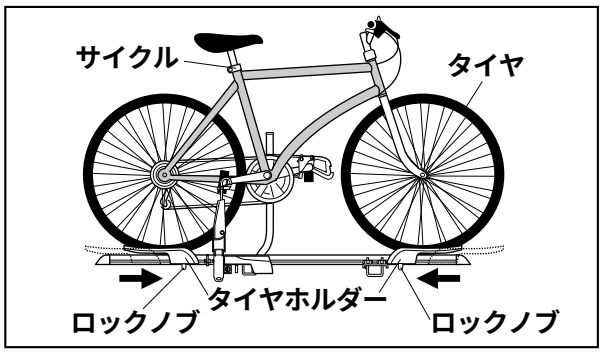


参考

クランクがペダルクランプに干渉する場合は付属のゴムシートをはってください。

準備 5

タイヤホルダーを調整する



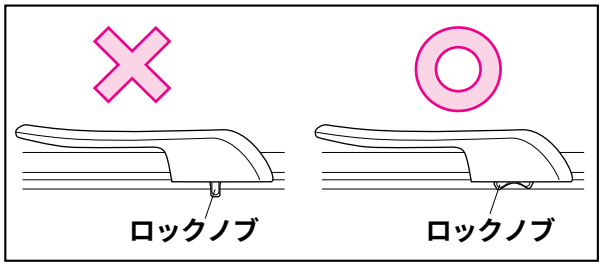
1 タイヤホルダー下側のロックノブを1回転緩め仮積載したサイクルのタイヤ端部までスライドさせロックノブを確実に締め込み固定する。

警告

ロックノブを確実に締め込んでください。走行時の風圧、振動により、タイヤホルダーがずれサイクルやキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

注意

ロックノブを緩め過ぎないでください。から回りして締め込めなくなります。

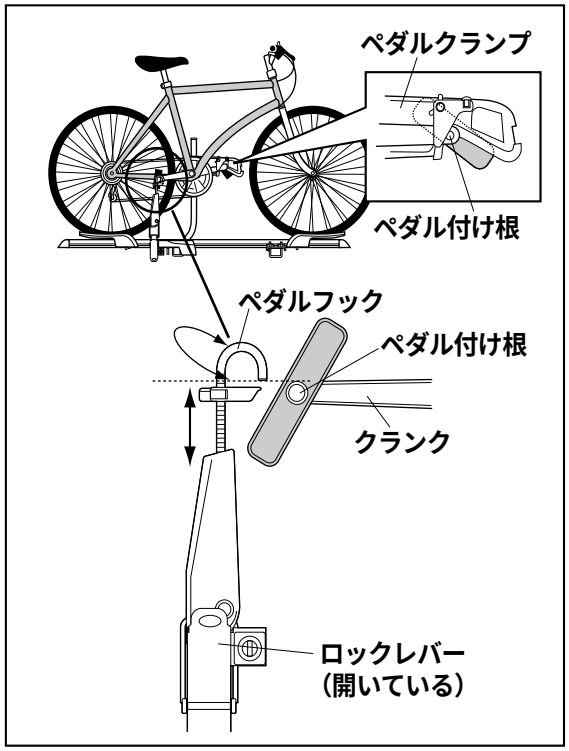


注意

ロックノブを締め込む際、ノブの出っ張りが最小限の位置で止めてください。本体プレートやベーシックバーと干渉します。

準備 6

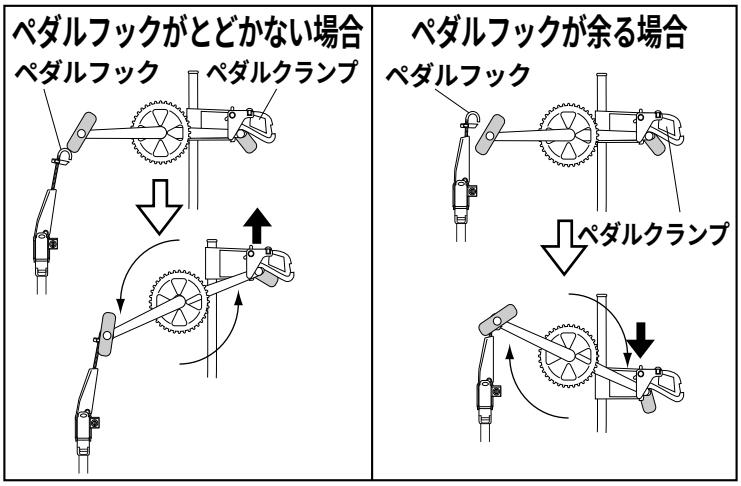
ペダルフックを調整する



1 ペダルクランプにサイクルのペダル付け根がしっかり入っている事を確認し、ロックレバーが開いた状態でペダルフックの先端がペダル付け根と同じ高さになるようにペダルフックを回転させ調整する。

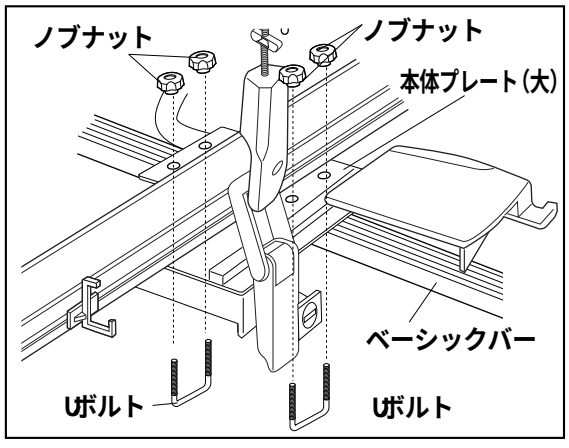
参考

ペダルフックの長さを調整しても長すぎて余る場合や、短すぎてとどかない場合は適正の位置になるようペダル

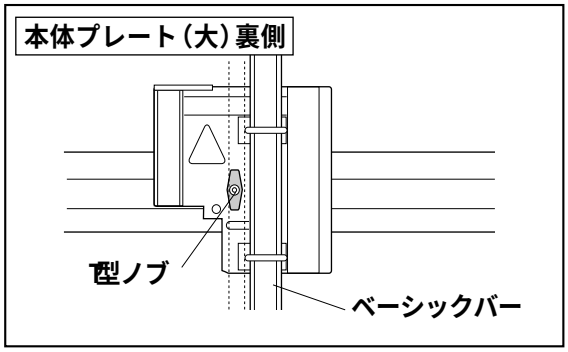


取付 1

本品をベーシックバーに取付ける

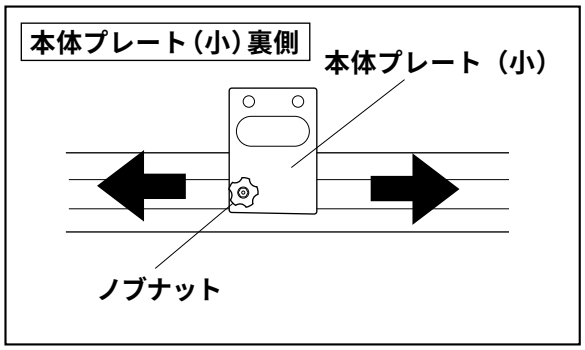


1 ベーシックバーに本体プレート（大）を載せ、Uボルトとノブナットで仮止めする。

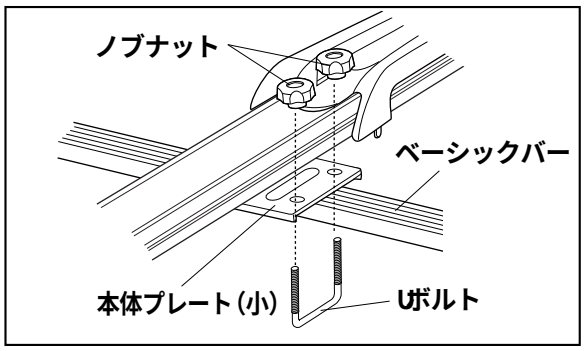


注意

T型ノブはベーシックバーに対して平行にしてください。
ベーシックバーが干渉し取付け出来ません。

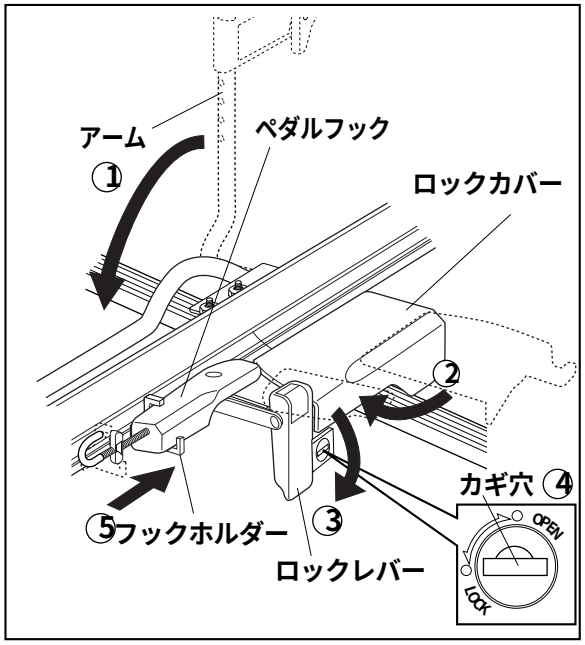


2 ノブナットをゆるめ、本体プレート(小)をスライドさせベーシックバーに合う位置に調整し、ノブナットを確実に締め込み固定する。



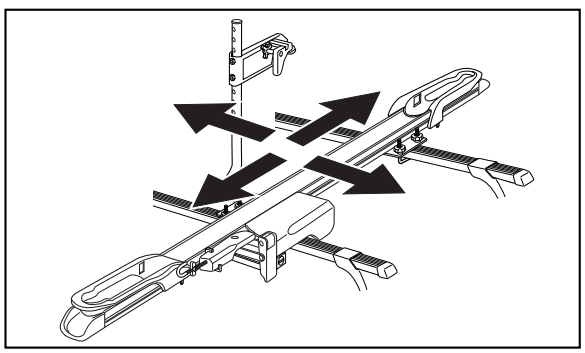
3 ベーシックバーに本体プレート(小)を載せ、Uボルトとノブナットで仮止めする。

4 ベーシックバーに仮止めした全てのUボルトとノブナットを確実に締め込み固定する。



5
① アームを倒し、
② ロックカバーを閉じて、
③ ロックレバーを奥までしっかり下 げ、
④ キーを゛ LOCK゛ の方向に回し、キーを抜く。
⑤ フックホルダーをスライドさせペダルフックを収納する。

取付2 取付後の確認をする

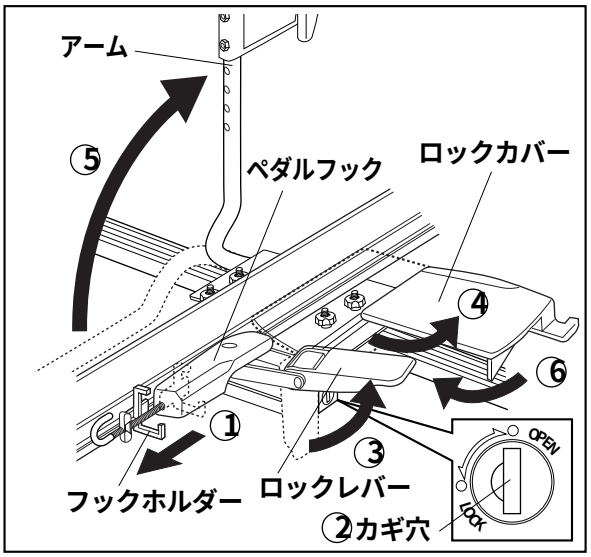


1 本体を前後・左右・上下にゆすり、確実に固定されているか確認する。ユルミがある場合は再度増し締めする。

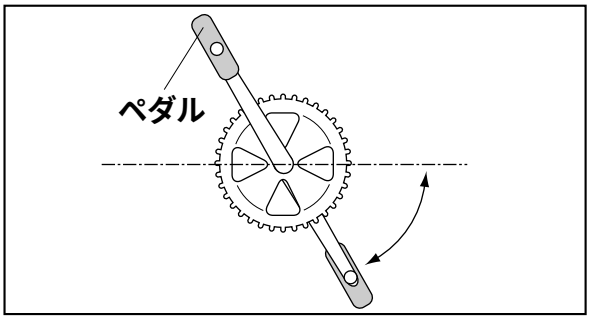
使用方法

使用 1

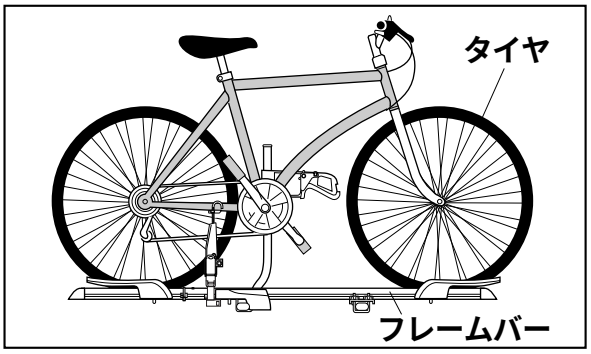
サイクルを積載する



1 ① フックホルダーをスライドさせペダルフックを解除する。
② カギ穴にキーを差し込み、キーを〝OPEN〟の方向に回し、
③ ロックレバーを上げる。
④ ロックカバーを開けて、
⑤ アームを立て、
⑥ もう一度ロックカバーを閉める。



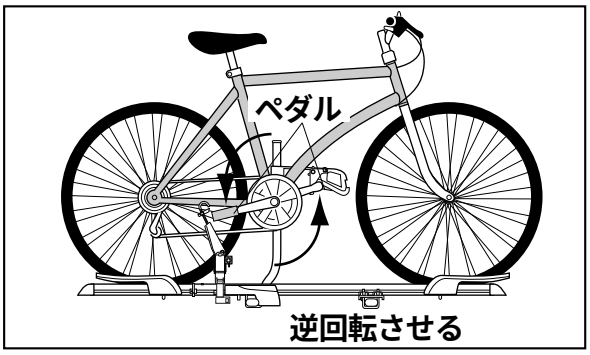
2 サイクルのペダルの位置をあらかじめ左図の位置にしておく。



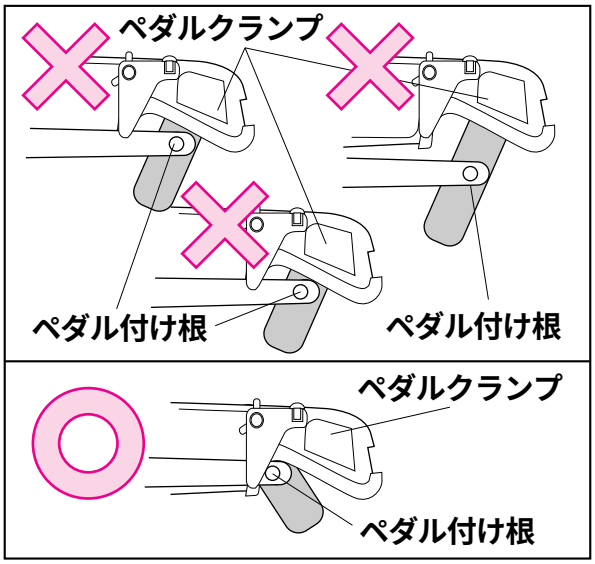
3 サイクルのタイヤをフレームバーの上に積載する。

⚠警告

サイクルを積載する際は、収納ケースや防水用カバーなどを使用しないでください。



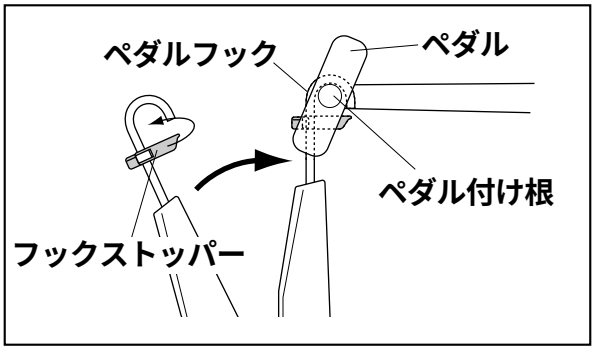
4 サイクルのペダルを逆回転させペダルクランプにペダル付け根をしっかり入れる。



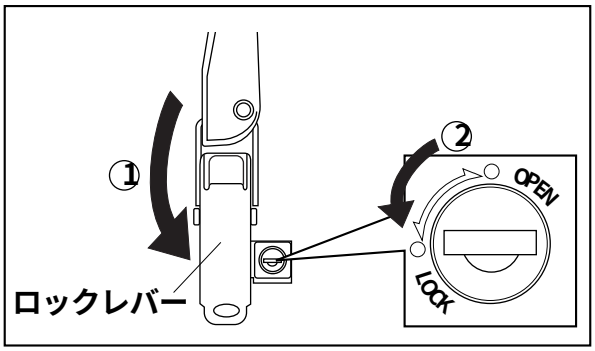
警告

ペダルの付け根部分はペダルクランプにしっかりと入れてください。

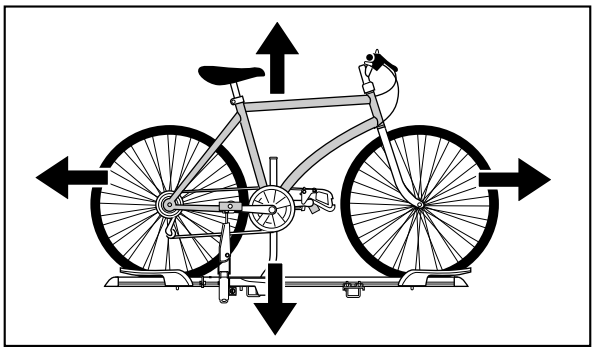
ペダルの付け根部分がペダルクランプにしっかりと入っていない状態で使用すると走行時の風圧・振動によりペダルがはずれサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



5 フックストッパーを回しながら手前側のペダル付け根にペダルフックを引っ掛ける。



6 ① ロックレバーを奥までしっかり下げ、
② キーを〝LOCK〟の方向に回しキーを抜く。



7 サイクルを前後左右にゆすり、ユルミによるガタツキはないか、キャリアに確実に固定されているかを確認する。ユルミがある場合は増し締めする。

参考

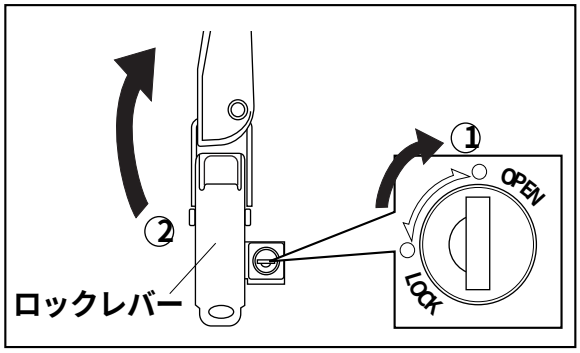
サイクルの積載毎に必ず確認してください。

使用2 走行する

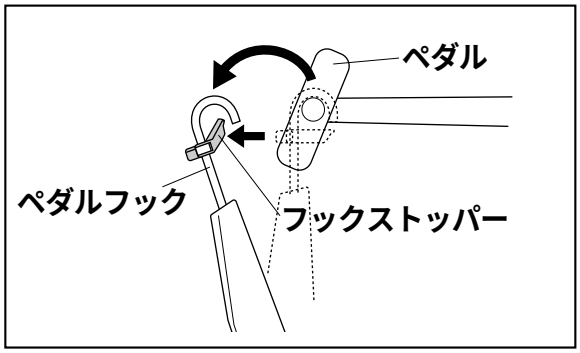
走行する際は、必ずP 2～P5の使用上の警告事項と注意事項を守ってください。

使用 3

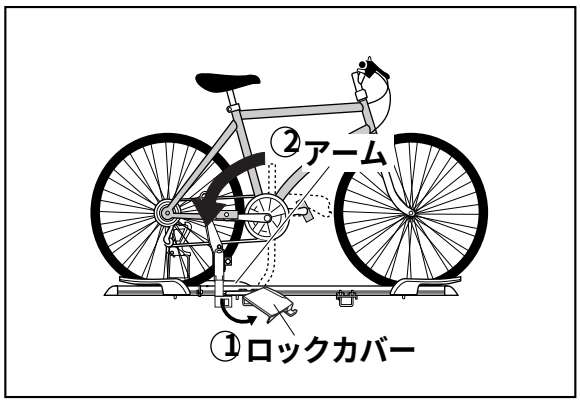
サイクルを降ろす



1 ①カギ穴にキーを差し込みキーを〝OPEN〟の方向に回し、②ロックレバーを上げる。

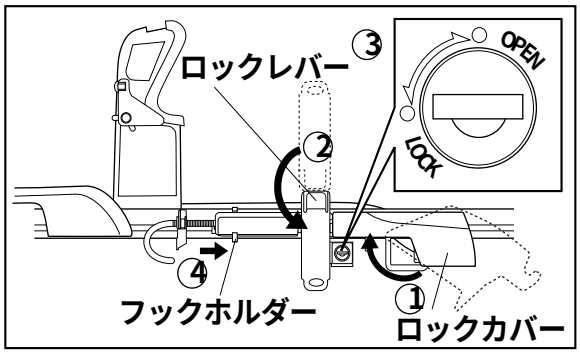


2 サイクルを手で押さえフックストッパーを回しながらペダルフックをペダルから外す。



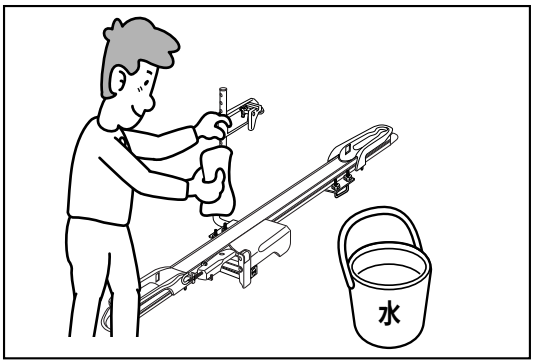
3 サイクルを手で押さえながら、
① ロックカバーを開き、
② アームを倒す。

4 サイクルを降ろす。



5 ① ロックカバーを閉じて、
② ロックレバーを奥までしっかり下げ、
③ キーを〝LOCK〟の方向に回しキーを抜く。
④ フックホルダーをスライドさせペダルフックを収納する。

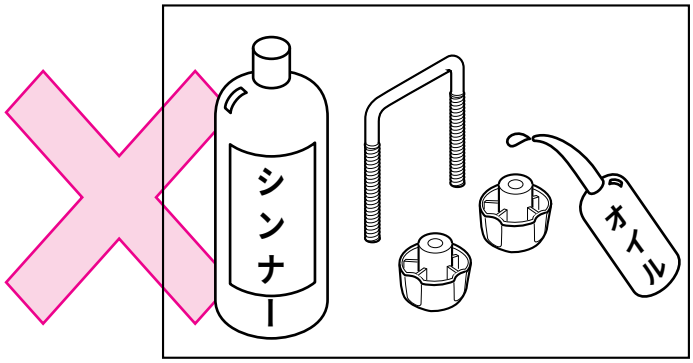
日常のお手入れ



1 水で泥汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

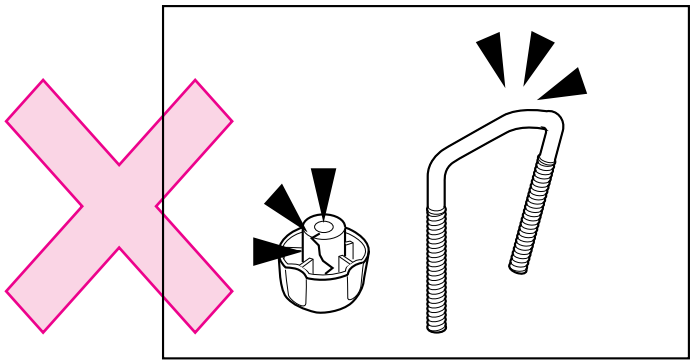
3 日陰でよく乾燥させる。



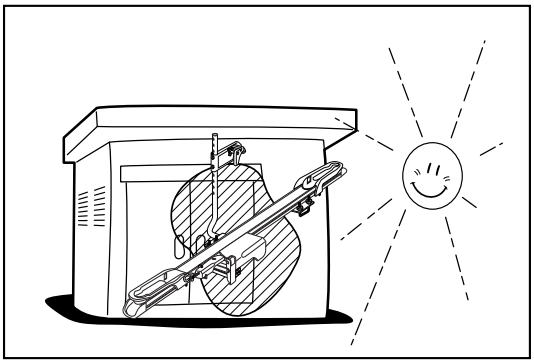
参考

シンナーなどの溶剤や洗剤（特にアルカリ性洗剤）やワックスを使用しないでください。

保管方法



1 本品を清掃し、各部に異常がないかを点検する。変形、破損が見られた場合はご使用をやめ、交換してください。



2 直射日光の当たらない乾燥した屋内に本品を保管する。

参考

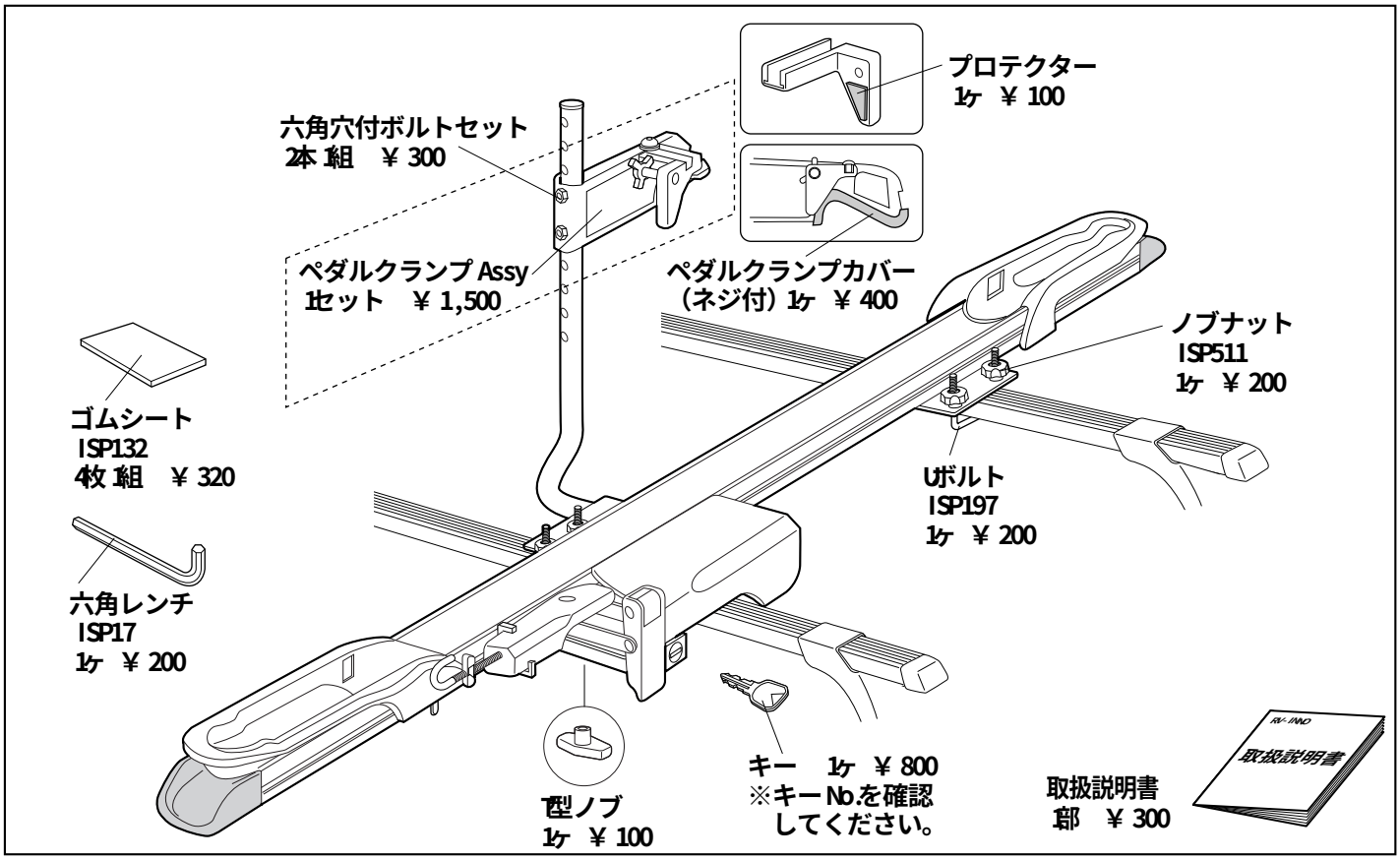
キャリアを使用しないときは、雨や紫外線などによるサビや劣化などを防ぐために、車両から外して保管してください。

純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際は、キャリアを購入された販売店にパーツ№またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

- **本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。**
- **本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。**



株式会社 カーメイト